

優良企業
取組事例

社会福祉法人 桔梗会

27年度
群馬県知事賞

医療・福祉

「イクメン企業アワード2015」(厚生労働省「イクメンプロジェクト」主催)でグランプリを受賞。利用者と職員、家族が笑顔で過ごせるように「働きやすい職場づくり」を経営戦略の一環に位置づけ取り組む。

独自の
取組

- 育児休業の有給化(7日以内)、年次有給休暇の時間単位取得
- ぐんまのイクボス養成塾を活用した管理職の意識改革
- 男性の育児休業の取得を応援

男性が使いやすい制度と環境を整備
両輪で取組んでイクメンを応援！

「利用者の幸せ」を理念に福祉施設を運営する桔梗会。制度の取組を担当する施設長の堤さんは「利用者の幸せという理念を実現するためには、笑顔あふれる職場づくりが必要と考えて当たり前の取組から始めました。何も特別な制度は作っていないんです」と話す。以前は男性職員の残業が多く、育児休業制度も利用されていない状況だったが、職員とじっくり話し合いながら現場のニーズに耳を傾け、利用しやすい制度を整えていった。また、イクボス養成塾に参加して管理職の意識改革にも取組み、制度を利用しやすい環境整備にも注力。結果、男性職員の育児休業取得が進み、有給休暇

取得率も上昇。こうした地道な努力が実を結び、厚生労働省の「イクメン企業アワード2015」でグランプリを獲得するに至った。

在宅福祉1課で働く原澤さんも「以前は制度があっても使いづらかったですが、今は上司が率先して育児休業を取得したり、ワークシェアリングを担う仲間の理解と協力があるので嬉しい。制度だけではなく、それをしっかりと利用できる環境づくりが大切」と、ワーク・ライフ・バランスが充実している現状に笑顔だ。

はたらく人の声



福利厚生が整っていることもあって入職しました。3人の子供に恵まれ、2人目と3人目の出産の際には育児休業を取得。妻の入院中には私が子ども達の世話をしていたので、安心して出産に臨めたようです。現在は定時の退社を心がけ、残業も少なくなりました。共働きの妻が食事の支度をしているときに子どもの勉強をみたり風呂に入れるなど充実した時間を過ごしています。育児に対する職場の制度整備はもちろん、一緒に働く同僚や上司の理解や協力があればこそだと感じています。

在宅福祉1課長 原澤 禎さん

利用した
制度

・ 育児休業を2回

取組推進員の思い

『利用者の幸せ』を実現するという理念実現への努力と、経営戦略の一環として取り組んできた職場環境の改善が『イクメン企業アワード2015』グランプリ獲得につながりました。この成果は大企業でなくても職場環境の改善が可能なことを証明していますし、小さいからこそスムーズに進められるメリットもあると思います。職場環境の改善によって職員同士の協力姿勢やコミュニケーションも活発になり、離職率も低下。また受賞によってモチベーションもあがりました。



施設長 堤 佳史さん

企業
情報

【代表者】宮下桂一
 【住所】沼田市横塚町957番地2
 【TEL】0278-23-8831 【FAX】0278-23-8832
 【URL】http://www.kikyuu.or.jp
 【従業員数】男性24名・女性80名